

KIEX^{なび}



Event Report

- ① 地域との連携事業 ①おはら祭 ②ミニ門松作り
- ② 子ども同士の異文化交流会～みんなで遊ぼう日本の縁日！～
- ③ 外国人相談事業～米盛病院体験ツアー～
- ④ 日中オンライン交流会
- ⑤ 魚類市場との共催
- ⑥ 世界のアフリカ系文化講座

Column

鹿児島市国際交流アドバイザーからの別れの挨拶

- 講座・イベントカレンダー
- 登録団体紹介
- 賛助団体会員紹介

(公財) 鹿児島市国際交流財団 賛助団体会員紹介

東武トップツアーズ

東武トップツアーズは、全都道府県に事業所を構える旅行会社です。半世紀を超える歴史をもち、身近な個人旅行はもちろん、会社の周年行事やインセンティブ旅行・研修旅行等の法人団体旅行、学校の修学旅行、様々なイベント・学会運営まで、お客さまのご期待を超える感動をご提供すべく日々取り組んでおります。地域の活力を日本の活力に繋げるため、従来の旅行会社の業務範囲にとらわれることなく、新たなビジネスフィールドへ積極的に挑戦し続けています。今後とも、東武トップツアーズの取り組みにどうぞご期待ください。



公益財団法人鹿児島市公園公社

私達は鹿児島市と連携し、平川動物公園、かごしま健康の森公園及びかごしま健康の森公園パークゴルフ場、旧島津氏玉邸庭園の指定管理者事業を中心に、受託する公共施設等について管理運営を行い、市民サービスの向上に努めています。現在の社会環境の変化を的確に捉えながら、公益財団法人としての役割と責任を自覚し、これまでの実績と経験を活かした安全で質の高い管理運営を提供すると共に、観光振興及び市民福祉の向上に寄与できるよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。



社会福祉法人 鹿児島市社会福祉協議会

～あなたのそばに いつでも社協～
鹿児島市社会福祉協議会は、市民に最も身近で公共性の高い民間の福祉団体として、70年にわたり市民の皆さまに支えられながら、時代に即した福祉活動を推進し、福祉のまちづくりに取り組んできました。地域福祉活動の推進、福祉に関する様々な相談や国際交流に関するボランティア活動の支援等を行っていますので、お気軽にお問い合わせください。また、InstagramやFacebookで様々なイベント等の情報も発信していますので、ぜひご覧ください。



登録団体紹介

鹿児島市国際交流センターの登録団体を紹介します！

FROLIK

FROLIKは、...

「外国にルーツを持つ子どもとその親」を支援する学生団体です。



七タイイベントの様子



ボランティアメンバーでの交流会

皆さんに一言

子育てをされている外国人ご家族がいらっしゃいましたら、是非FROLIKをご紹介します！また、大学生、短期大学生、留学生の参加もお待ちしております。是非一緒に活動しましょう♪

連絡先

Email: frolik2024kagoshima@gmail.com
代表 池田 彩花(いけだ あやか)
URL: <https://lit.link/frolikkagoshima>

鹿児島国際化推進協議会



HP: KAGOSHIMA Visitors' GUIDE
Facebook: KIC-update
Instagram: KIC-update

で検索してください。KICは当協議会の英語名「Kagoshima Internationalization Council」の頭文字です。ホームページでは、観光等の問い合わせを365日受け付けています。

鹿児島市の観光やレストラン、カフェ、防災、イベント等の情報発信をしています。



かごしま語っ場—
毎年秋開催

秋に「かごしま語っ場—」という参加型のトークイベントを開催しています。いろんな人と繋がる、楽しくて、いろんなアイデアをシェアできて、おいしい料理も堪能

できるイベントです。どなたでも参加できるので、ぜひいらしてください。開催等については、9月初めごろ当協議会のウェブサイトでお知らせします。

皆さんに一言

KICのウェブサイトやぜひのぞいてみてください。かごしま語っ場—へのご参加もお待ちしております♪

連絡先

〒892-0848 鹿児島市平之町8-13
平田橋ビル2階 TEL: 099-224-8001
Email: info@kic-update.com
URL: <http://kic-update.com/>

賛助団体会員募集！

～市民の皆さまによって支えられています～

鹿児島市国際交流財団は、多くの市民の皆さまによって支えられています。鹿児島市国際交流財団の活動に賛同してくださる賛助団体会員の皆さまを募集しています。

会員特典

- 参加料金の割引
- 会報誌の送付や国際交流に関する情報の提供
- 財団ホームページでのバナー広告掲載(団体会員のみ)

年会費

- 個人会員(1口)1,000円
(家族会員及び10月以降加入の会員は500円)
- 団体会員(1口)10,000円から

入会資格

- 当財団の目的(国際交流等)に賛同し、後援する個人または団体

申込方法

当財団事務局で受け付けております。申請書はホームページからもダウンロードできますので、記入の上、郵送等によりお送りください。また、希望者には申込書を送付いたします。どうぞお気軽にお問い合わせください。

賛助団体会員のご紹介

国際交流センターホームページに賛助団体会員の皆様のバナーの一覧がありますのでぜひご覧ください。リンクも張っています。(ページ下の方です。)



公益財団法人 鹿児島市国際交流財団



鹿児島市国際交流財団は、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、国際相互理解を深め国際協力意識の高揚を図るとともに、地域の多文化共生を推進し、国際都市鹿児島市の発展に寄与することを目的としています。

〒892-0846 鹿児島市加治屋町 19 番 18 号 TEL (099) 226-5931
FAX (099) 239-9258 E-mail: kokusai@kiex.jp HP: <https://www.kiex.jp>
【開館時間】 9:00～21:00 (日曜日及び祝日は 9:00～17:00)
【休館日】 月曜日 (祝日と重なる場合はその翌日)・年末年始 (12月29日～1月3日)

国際交流の推進

市民と外国人住民の親善・交流を深めよう！

国際理解の推進

市民と外国人住民に
お互いのことをもっと
知ってもらおう！

国際協力の推進

市民による国際協力・
貢献活動を
支援します！

多文化共生の 地域づくりの推進

市民と外国人住民が
共に生きていく地域
づくりを支援します！



4 月

韓国文化理解教室

- 内 容** 韓国料理のチヂミを一緒に作りながら、韓国文化への理解を深めます。韓国人講師によるミニ文化講座も。
- 対 象** 中学生以上
- 日 時** 4月26日(土)11:00～13:30
- 参加費** 1,000円(学生500円)
- 定 員** 12名(超えたら抽選)
- 申込期限** 4月15日(火)



5～7月

にほんごサポート「さくら」

- 内 容** 支援ボランティアがマンツーマンで生活日本語の勉強をサポートします。
- 対 象** 鹿児島市に住むか、通勤・通学している外国人住民
- 期 日** 5月から学習者・支援者の都合が合う日時(週1回・全8回・各回90分)
- 参加費** 1,000円(8回分)
- 定 員** 20名程度
- 申込期限** 4月16日(水)
- その他** 詳細及び多言語での広報はホームページをご覧ください。



5 月

新入外国人の歓迎交流会
～ハーティーパーティー～

- 内 容** 新しく来鹿した外国人を歓迎する国際交流パーティー。在住外国人が母国の文化を紹介する体験ブース、楽しいレクリエーションなど、外国の方と触れ合って、交流を深めてみませんか?
- 対 象** どなたでも
- 日 時** 5月18日(日)13:30～16:00
- 参加費** 500円(財団会員・外国人住民は財団が500円負担)
- 定 員** 200名(超えたら抽選)
- 申込期限** 5月8日(木)



5～8月

韓国語講座(①入門・②初中級)

- 内 容** 市国際交流アドバイザーによる韓国語講座。文字のハングルから学ぶ「入門」と、基本的な文法や単語、会話について勉強する「初中級」コースがあります。韓国の生の文化が分かるミニ講座お楽しみに♪
- 対 象** ①どなたでも
②文字(ハングル)の読み書きができる方
- 日 時** ①入門 5月21日～6月25日(毎週水曜日・全6回)
②初中級 7月2日～8月6日(毎週水曜日・全6回)
各18:30～20:00
- 参加費** 2,000円(財団会員は財団が1,000円負担)
- 定 員** 各16名
- 申込期限** ①5月13日(火)②6月20日(金)

5 月

ホームビジット体験

- 内 容** 外国人住民が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらう短時間のホームステイ。(※宿泊は伴いません)
- 対 象** (日本人)国際交流に意欲のある日本人家庭
(外国人)鹿児島市に住むか、通勤・通学している方
- 場 所** 各ホームビジット宅
- 日 時** 5月25日(日)10:00～15:00頃
- 参加費** 無料
- 定 員** (日本人)10家族程度
(外国人)20名程度(超えたら抽選)
- 申込期限** 5月2日(金)



5～8月

世界の台所

- 内 容** 外国人講師による自国の料理と文化を紹介する講座 a) アメリカ b) ネパール c) インドネシア d) インド
- 対 象** 鹿児島市に住むか、通勤・通学している中学生以上の人
- 日 時** 土曜日の10:30～14:00 a)5月31日
b)6月28日 c)7月26日 d)8月23日
- 参加費** 1,000円(学生500円)
- 定 員** 各回12名(超えたら抽選)
- 申込期限** 5月13日(火)
- その他** aからdのうち、希望の講座を選んでご記入ください。(希望順に3つまで)



6 月

インターナショナルカレッジ

- 内 容** 鹿児島市に居ながらにして、外国文化を体験したり、異文化を理解してもらうことを目的に開催します。
- 対 象** 鹿児島市に住むか、通勤・通学している中学生以上の方
- 日 時** 6月29日(日)※詳細はホームページをご覧ください。
- 参加費** 500円(学生・財団会員・外国人住民は財団が500円負担)
- 定 員** 60名(超えたら抽選)
- 申込期限** 6月17日(火)



Event Report イベントレポート

地域との連携事業

①おはら祭 ②ミニ門松作り

地域の交流を図ることを目的に、今年は下記イベントを開催しました。

まず1つ目は、山下校区コミュニティ協議会のメンバーとして、地域の皆さんと一緒に「おはら祭」への参加。今年は地域の方々と一緒に本番に向けた練習を行い、おはら節・ハンヤ節・渋谷オハラの3種類の踊りをマスターしました。本番当日は、お揃いのブルーのTシャツを着て、最後まで笑顔で踊りを披露することが出来ました!!

2つ目は、「ミニ門松作り～」を開催。中国やブラジルのお正月の過ごし方の紹介に驚いたり、共通点を知った後は、早速グループで門松作りを行いました。途中、難しいところはお互い教えあったり、交流しながら作ったりする場面も多く見られ、2つのイベントを通して、「顔と顔が見える地域の交流」がより深まりました!!

開催日 ①11月3日(日) ②12月15日(日)

参加者 ①13名 ②15組30名



子ども同士の異文化交流会 ～みんなで遊ぼう日本の縁日!～

日本人と外国人の子どもたち同士の交流を目的に、「みんなで遊ぼう日本の縁日!」を開催しました。

日本の祭りに関する絵本の読み聞かせを実施し、日本のお祭りを何のために行うのか、子どもたちに知ってもらった後、実際に子どもたちに日本の縁日を体験してもらう機会を設けました。

日本人の子どもと外国人の子ども同士が、チャンバラをしたり、ゴム鉄砲で当てた数を競いあったり楽しく活動できました。外国人家族からは、「いつもは体験できないような日本の遊びを、日本人の皆さんと体験できてよかった」との感想をいただきました。

開催日 1月12日(日)

参加者 53名



外国人相談事業～米盛病院体験ツアー～

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、米盛病院に協力いただき、病院体験ツアーを開催しました。

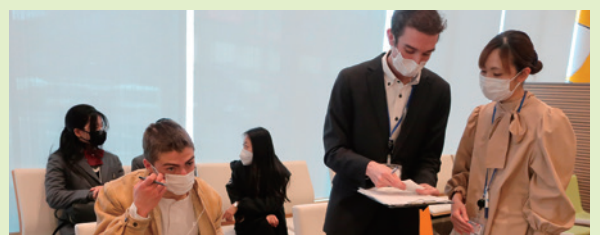
最初に病院の受診方法や各診療科の詳細について講座を実施しました。紹介状が必要な病院や、クリニックと大学病院の違い等、外国にはない医療体制について米盛病院の職員の方から説明をしていただきました。

その後、米盛クリニックにて、病院体験ツアーを実施しました。

受付・診察・レントゲン・処方箋等一連の流れをグループに分かれて体験し、参加者からは「母国の医療とは全く違うので驚いたが、次回病院を受診するときは緊張せず対応できそうだ。」との感想をいただき、日本の病院について少しでも知ってもらえるよい機会になったと思います。

開催日 1月26日(日)

参加者 外国人8名
日本人ボランティア・見学者7名



国際交流の架け橋として— 3年間の歩みを振り返る

鹿児島市国際交流アドバイザーとして活躍した劉 開麗さん(中国出身)とレベッカ・レヴェックさん(アメリカ出身)が、このたび約3年間の任期を終え、鹿児島を離れることになりました。言葉や文化の違いを超え、市民とともに多様な交流の場を築いてきた二人。今回、お二人に、鹿児島での思い出や印象に残った出来事などについてお話を伺いました。



劉 開麗さん

レベッカ・レヴェックさん

Q1 鹿児島で国際交流員として働くことになったきっかけと、鹿児島の初めての印象はどうでしたか？

国際交流員として働くきっかけは、愛媛大学で留学した時に参加した国際交流イベントでした。当時の国際交流員を通してJETプログラムを知ってぜひこの仕事をしたいと思いました。そして、面接の時自然が好きと言ったので鹿児島になったのではないかと思います。鹿児島の初めての印象は、雄大な桜島と穏やかな海の景色に感動したことです。空港から市内に向かう途中、桜島が間近に迫る光景は圧巻で、自然の力強さを感じました。

Q1 鹿児島で国際交流員として働くことになったきっかけと、鹿児島の初めての印象はどうでしたか？

大学を卒業したら日本で働きたいと思っていたので、大学4年生の時に国際交流員の仕事に応募しました。鹿児島に対する初めての印象は、やっぱり桜島の壮大さですね。地元のワシントン州にレーニア山という火山がありますが、噴火することはないので、桜島が噴火しているのを初めて見た時は不思議な気持ちになりました。

Q2 鹿児島市民との交流の中で特に印象に残っているエピソードは何ですか？

特に印象に残っているのは、鹿児島市内の小学校で国際理解授業を行った時のことです。子供たちに私の母国の文化や言葉を紹介し、一緒にゲームや歌を楽しみました。授業の後、子供たちから手紙をもらったときはとても嬉しかったです。また、先生方からも「子供たちの視野が広がった」と感謝の言葉をいただき、国際交流の重要性を改めて実感しました。

Q2 鹿児島市民との交流の中で特に印象に残っているエピソードは何ですか？

あるとき、センターで開催された自分の講座を受講してくださった県外出身の方から「鹿児島の訛りですね」と言われて嬉しかったです。たくさんの市民と方お話をして話し方まで影響を受けているんだ、鹿児島県民になったな、と実感できました。上京しても鹿児島訛りを失いたくないなと思います(笑)

Q3 鹿児島で生活をする中で、文化の違いや環境などで驚いたり興味を持った点がありましたか？

鹿児島で生活をする中で、特に驚いた点は火山灰と鳥刺しです。夏の時、空が灰色になり、車や道路に灰が積もる光景に驚きました。洗濯物を干すのは戸惑いましたが、だんだん慣れてきて室内に干したりしました。また、鹿児島独特の食文化として鳥刺しは欠かせないですね。最初は生の鶏肉に対する抵抗がありましたが、チャレンジした結果、新鮮さを感じて興味を持ちました。

Q3 鹿児島で生活をする中で、文化の違いや環境などで驚いたり興味を持った点がありましたか？

夏の激しさに本当に驚きました。自分が育ったワシントン州の夏は全然蒸し暑くないし、9月に終わるから日本の蒸し暑くて長い夏になかなか慣れないです。あと、鹿児島の冬も意外と寒いんです(笑)台風も地震も鹿児島で初めて経験しました。地元の火山防災対策も鹿児島の火山防災対策と少し違うので、その違いを知るのも面白かったです。

Q4 鹿児島で好きになった場所、またはおすすめのスポットはどこですか？

城山展望台です。ここからは鹿児島市街、桜島、錦江湾を一望できる素晴らしい景色が広がっていて、特に夕方や夜景はとても美しいです。桜島の雄大な姿と街並みが一体となった景色は、何度見ても飽きません。また、展望台までの散策路を歩くと、緑に囲まれた静かな雰囲気の中で、鹿児島の歴史を感じることができるのでおすすめです。

Q4 鹿児島で好きになった場所、またはおすすめのスポットはどこですか？

桜島溶岩なぎさ遊歩道です!桜島と錦江湾の景色を見ながら散歩することでいつもエネルギーをもらっています。といっても、本当の目当ては遊歩道の道端で暮らす猫たちです(笑)あと、読書好きなので、センテラス天文館にある天文館図書館が大好きです。読書や勉強、イベントにもぴったりの空間で、何時間も過ごせます。

Q5 他のところと比べて、鹿児島の特徴や特別な魅力は何だと思いますか？

自然の美しさや歴史的な深み、そして人々の温かさが融合した町です。活火山の桜島は観光地だけでなく、住民たちが日常的にその自然と共に生きている様子が感じられます。西郷隆盛をはじめ、歴史人物の足跡をたどることができます。また、鹿児島の人がおおらかで親しみやすい印象を受け、いつも優しくして頂いてます。観光客としてもその温かさを感じることができると思います。

Q5 他のところと比べて、鹿児島の特徴や特別な魅力は何だと思いますか？

自然と街のバランスが絶妙なところ。海も山(火山)も散歩できる道もたくさんあるし、街も充実していて不便を感じることはないです。運転が苦手なので市電の存在に感謝しています。とにかく住みやすいし人も温かいので、いつかまた鹿児島で暮らせるように頑張っていきたいと思います。

日中オンライン交流会

開催日 1月31日(金)

参加者 10名

オンラインを活用し、鹿児島の参加者と海外の外国人との交流を目的に、鹿児島市日中友好協会所属の滕 詩佩(テン スーペイ)氏にご協力いただき、「日中オンライン交流会」を開催しました!

今年は、1月29日(水)に“春節(中国のお正月)”を迎えた中国。“お正月”をテーマに、中国・大連とオンラインで繋ぎ、中国の飲み物を片手に、「过年好!(新年おめでとう!)」の掛け声で交流会がスタートしました♪

まずは、会場に準備されたヒマワリの種の食べ方のレクチャーから始まり、“春節”について簡単にご紹介いただきました。途中、Zoom越しに花火や爆竹の音が鳴り響き、ライブ感満載でした!!後半は日本語や中国語を交えながらの交流タイム♪ご家族が実際に準備してくれたお料理を一つずつ披露してくださったり、洋服の紹介や自宅ツアーの要望にも応えてくださり、中国・大連や“春節”についてたくさん知ることができ、まさに日本に居ながらにして“春節”を体感しているようでした!!



魚類市場との共催

開催日 2月1日(土)

参加者 10名

鹿児島在住の外国人を対象に、鹿児島市魚類市場で取り扱っている新鮮な魚介類の魅力を知らってもらうため、鹿児島県産食材を使った料理教室を“いおかごしま”魚食普及拡大推進協議会と開催しました。

今回は、青果市場から桜島大根など、旬の食材提供もあり、講師を務めていただいた“いお鹿児島”協力隊員の白石 孝子さんから、鹿児島の郷土料理「ぶり大根」や「ぶりの照り焼き」など手順を教わりながら、計5品の料理に挑戦しました。

参加者からは、「サーモンを使った料理しかしたことがなかったの、レポートリーを増やすことが出来る」や「桜島大根を使った料理は美味しかった」等の声が挙げられました。

魚類市場では、アジアの国々を中心に輸出展開を図る事業を行っており、関係者との意見交換会も行いました。自宅でも鹿児島の美味しい食材で料理をし、SNSなどで情報発信をしてもらえると嬉しいです。



世界のアフリカ系文化講座

開催日 2月2日(日) 2月9日(日)

参加者 延べ53名

2月2日と2月9日の2日間にわたり、「世界のアフリカ系文化講座」を開催しました。この講座は、アメリカにおいて2月が「黒人歴史月間」であることに因んで、アフリカ系文化の多様性やその歴史的背景を学び、多文化共生への理解を深めることを目的としています。

初日には、黒人歴史月間の意義をテーマにしたプレゼンテーションが行われました。鹿児島在住の外国人講師たちは、詩人マヤ・アンジェロウ、振付師アルヴィン・エイリー、ミュージシャンのボブ・マーリーの人生や功績を紹介し、参加者と共に文化の継承と表現の力について考えました。

2日目には、映画『Ray』の上映会を実施。レイ・チャールズの音楽と人生を描いた映画を通じて、障壁を乗り越えた彼の姿勢や音楽の持つ力を体感しました。上映後のディスカッションでは、多くの参加者が映画の中で描かれた当時の社会における黒人の扱いや、信念を持って自分の力で人生を切り開くことの大事さについて再認識する貴重な機会となりました。

本イベントには延べ53名が参加し、多文化理解の大切さを共有する場となりました。今後も、このようなイベントを通じて、さまざまな文化に触れる機会を提供していきます。

